



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和63年(1988)5月23日
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
TEL.(06)6244-1008 FAX.(06)6244-1010
WEB. <http://sembarotary.club> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111
会長 宮原 彰 幹事 岩崎 寿英 会報広報委員長 中西 弘明

四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1440回 例会 2022年(令和3年)1月11日

(職業奉仕月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 平山 明彦 SAA)

- ロ-タリ-ソング 「君が代」「奉仕の理想」
- 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告
- 1月お誕生月会員お祝い
- 例会 11階「アスターボールルーム」17:00～17:50
- 年男放談・会員懇親会 11階「アスターボールルーム」18:00～20:00
- 理事会 11階「エンパイアボードルーム」16:00～16:50

前回(12月20日)例会記録

◇プログレス 洪 理恵 副SAA

1. 来客紹介 ゲスト:0名 地区外:0名 地区内:0名 合計:0名

2. 会長の時間 宮原 彰 会長



皆さん、こんにちは。今日は2021年の最終例会となりました。

この1年、特に年度の始まった7月からは、至らぬ私の為に皆さんにご協力や、助けて頂くことばかりで、本当にありがとうございました。コロナがこんなに長引くとは思っておりませんでしたので、年度がスタートしたら、順調に進めて行けると、思っていたのですが、緊急事態宣言の発令により、急な日程の変更や例会の休止で皆様にご迷惑もお掛けしました。

特に岩崎幹事から、コロナに感染されたとの連絡を受けてから、岡野会員の尽力で、中村会員、片岡会員にお集まりいただき、迅速に対応策を協議して頂きました事に、心より御礼申し上げます。

コロナの第六波の事や、オミクロン株も心配されますので、この先不透明なところも、ありますが、何とか平穏であって欲しいと願っております。

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

今年は松永修さん、栗原裕さん、松谷廣信さんが各々の事情により退会されて行かれました。
長年に渡りロータリー活動に尽力されました方々と、ご一緒出来ました事を、誇りに思っております。
かわりに新たに篠藤敦子さん、野田寿美子さんが加わっていただき38名となりました。
新年度からはこの体制で活動して参りますので、よろしくお願ひ致します。
年末から年始にかけてお忙しい日が続くと思いますが、身体に気をつけて、良い新年をお迎へください。
重ねて、この1年お世話になりありがとうございました。

会長の挨拶はこれまでに致し、ここで皆様方にお願ひがございます。
11月10日に逝去されました、松谷廣信様の遺徳を偲び2017年にカンボジアに建設いたしました、大阪船場ロータリークラブ小学校への恒久的な支援活動として、基金設立して頂きたくお願ひ致します。

名称に松谷様の名前を頂く意味は、陸上自衛官を退役された後に(株)「企業サービス」と言う会社を設立されて、カンボジアに残って地雷の撤去をしている戦友への援助を行ってこられました。

このようなロータリアンが大阪船場RCにおられた事を誇りに思います。

私の計画案について申し上げます。

- ①名称 「松谷カンボジア小学校支援基金」
- ②金額 お一人「月額 金:2000円 年間:24000円」
- ③この基金は独立した松谷カンボジア小学校支援のみに使用する。
- ④運営 「会員の中から運営の希望者を2名募り、この2名で現地へ赴き、現地の希望に沿った支援活動を行う。」
- ⑤費用 「現地への渡航費用2人分は基金から拠出して残額を支援費用とする。」

皆様のご意見を賜りたくお願ひ致します。

3. 地区委員会委嘱状授与



地区より委嘱状が届きましたので、宮原会長より授与されました。

2022学年度米山奨学生選考委員 清水 清一

4. ニュニコ報告 竹内 弘 親睦委員

野田 会員・・・本日はインシエーションスピーチしっかりお伝え出来る様がんばります。

平山 会員・・・会員懇親会、岡本委員長ご苦労様でした。北野さんが登壇された時、小山さんから金語桜に似ているとのエールがありました。以前週報に北野さんのことを美食家、知的教養人でもある古川ロッパに似ていると記載したことがあります。いかがでしょうか。

俣野 会員・・・アメリカンフットボール全日本大学選手権、甲子園ボウルでKGファイターズが優勝、4連覇達成しました。岡本真太郎さん、大きな声援ありがとうございます。

大嶋 会員・・・今年も一年間有難う御座いました。

伊藤 会員・・・先日父の死去に際し、香典・弔電・供花をいただき、ありがとうございました。

宮原 会員・・・皆様本年は大変お世話になりました。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

清水、沖、竹内、天野、岩崎、北野、小島、原山、洪、中井、新川、坂本、井澤、中村、岡本(茂)、片岡、大磯、小山、林、藤井、山川、吉本、甚田、中西、篠藤、

各会員・・・今年最後の例会は野田会員 篠藤会員のインシエーションスピーチです

5. 出席報告 洪 理恵 副SAA

会員総数 39名 出席率計算会員数 39名 出席会員数 34名 出席率 87%
第1437回(11月29日) 修正出席率 97%

6. イニシエーションスピーチ

◎ 篠藤 敦子 会員



公認会計士の篠藤敦子です。

本日は、①いままでの私の経歴「私の履歴書」を簡単に ②次に、現在の仕事内容を人のご縁とともに ③最後に、ロータリーでしたいことの3つについてお話いたします。

(1) 私の履歴書

ちょうど、今月の日経新聞の「私の履歴書」は、大学の先輩である赤松良子さんです。

赤松さんや赤松さんの私の履歴書にてでくる森山真弓さんも大学の先輩ですが、そのころは津田塾専門学校(現在の津田塾大学の前身、旧制専門学校)であり、お二人ともその後東大へ進学されています。女性の大学進学率がほんの数パーセントの時代に東大へ進むという、そのころの津田塾には意欲をもった超優秀な女性が全国から集まっていたのでしょう。しかし、私はお恥ずかしいことですが、文系大学で受験科目に社会がないこと、数学で受験できる、それだけの理由で選んだだけでした。

時間を遡って私は、名古屋市の名古屋城の近くで生まれ、育ちました。はっきりした記憶は幼稚園の年少さんぐらいのときからですが、とにかく内気、人の顔をうかがう、子どもらしくない子だったと思います。

両親にとって初めての子だったこともあり、母はとても厳しく教育熱心でした。幼稚園の頃からピアノ、英語、水泳、習字等、お稽古事をたくさんしました。母には申し訳ないのですが、残念ながら一つもモノになっていません。

そんな内気な私に、転機が訪れたのは中学3年生になったときです。担任の先生が、生徒会役員や、クラスの合唱発表会のピアノ伴奏者などへと私を引っ張り出してくれました。また、勉強に対する自信も持たせてくださいました。その先生のおかげで、県立の進学校に進むことができました。高校での3年間は、楽しい一言で、素晴らしい同級生、同窓生に恵まれました。東京での大学生活は、バブル景気の少し前の時代、アルバイトをしては稼いだお金をすべて洋服や靴に使いつつという、アホな生活を4年間飽きもせずずっと続けていました。何をしたいのかわからないまま、大学4年生になりました。ちょうど、男女雇用機会均等法が施行されたときに就職の年を迎えましたが、企業に就職する気持ちにもならず、結果、無職です。

さすがにこれではマズイ、と書店で資格の本をペラペラとめくり、公認会計士という資格があること、簿記、原価計算という計算系科目の配点が多いということを知り、これなら何とかなるのではという甘い考えをもちました。あとから合格率が5%程度しかないということを知りましたが、専門学校の費用を払い込んでしまったので、もう後には引けません。簿記の3級からはじめ、合格までは2年かかりましたが、受験2年目は、もうこれで最後と決め、大げさな言い方ですが、背水の陣で臨みましたので、合格したときには嬉しいというよりホッとしたことを覚えています。

その後は、現在のあずさ監査法人で監査業務に6年ほど従事し、独立しました。

(2) 現在の仕事

現在は、公認会計士としての仕事と税理士としての仕事の両方をしています。法人や個人事業主の顧問先をもち、税務顧問としての仕事をしています。また、監査法人を退所してから遠ざかっていた監査の仕事も8年ほど前から、監査法人時代の縁で再開しました。現在は、上場企業ではありませんが、監査責任者として金融商品取引法監査を数社担当しています。その他、社外役員としては、大阪外口のグループ企業の社外監査役、ユザワヤ(北海道から九州まで75店舗を構える手作りホビー材料の専門店)の社外取締役、奈良県立医科大学(日本でコロナ患者第一号を受け入れた病院です)の監事などを行っています。

仕事の上では数え切れないほど多くの方にお世話になりましたが、中でも大きな影響を受けた方、仕事の転機を与えてくださった3名の方についてお話したいと思います。

おひとり目は、30歳で後先考えず独立した私の顧問先第一号となってくださった、ユザワヤの創業社長です。普通は、30歳の若いお姉ちゃんに自分の大切な会社の税務顧問を任せるなど考えられませんが、社長は「資格があるなら、できるでしょ」と、いとも簡単にグループ企業のうちの1社、それも売上高が数十億円規模の会社を任せてくださいました。今から考えるとおそろしいことですが、引き受けたからにはやるしかありません。このご縁で、現在はユザワヤグループの社外監査役をすることとなっています。

次は、40歳のときです。甲南大学に会計大学院が設置されることとなり、縁あって特別講師として週1日、大学院で教えることになりました。32歳で長男、その5年後に次男を出産し、顧問先も第10号くらいまで増え仕事をこなすだけで精一杯、勉強不足の10年間を過ごしていましたので、毎週泣きたい気持ちで予習をし、2コマの講義を何とかこなす、の繰り返しでした。そんな生活を続けて2年、42歳のときです。会計大学院の院長お電話をいただきました。院長から直接お電話を頂いたので、とうとうクビか、、、と覚悟したところ、「来年度から、実務家教員として教授にならないか」と夢にも思っていなかったお話をいただきました。子育て真最中で仕事に停滞感を感じていた時でしたので、ありがたいお話しにその日は眠れませんでした。

選考委員会等を経て、院長との面接のときに「私でほんとうに大丈夫でしょうか。」と正直な気持ちを申し上げたところ、「他の先生方も賛成されています。良い機会ととらえ、やってみたらいいですよ。」と穏やかな笑顔でお話いただき、嬉しい気持ちで教授に就任したのですが、その後は、また泣きたい気持ちで予習、講義の生活が続きました。会計大学院での10年ちょっとの経験は、仕事だけでなく人間関係にも大きな基礎を作ってくれています。

三人目は、岡野さんと知り合うきっかけを作ってくださいくださった方でもある、公認会計士の大先輩です。私は、税務や会計の専門誌などに原稿を掲載して頂いたり、税務や会計関係の書籍も少しだしています。こういった執筆の機会をつくってくださいだったので、さきほど申しあげた会計士の先輩です。未経験の個人が出版社にいきなり行っても門前払いを受けると思いますが、先生がいくつかの出版社にご紹介くださったので、「先生のご紹介なら」ということで信頼していただき、執筆の機会を頂くことができます。逃げ出したくなるようなプレッシャーを感じる原稿も多々あり、精神的に厳しい仕事ですが、その先生が「自分の能力より上だ、これは難しいと思っても断らないで引き受けたいです。そうすれば、何とかしようと努力します。その努力は必ず力になります。」とお話くださったのが忘れられず、その言葉を胸に、依頼があった原稿は苦しみながらもなんとか提出しています。

(3) ロータリーで何をしたいか

私にとってのロータリーのイメージは、母方の叔父です。叔父は、地方都市のロータリーの会員として長年活動をしていました。中小企業の経営者で、いつも冷静、紳士とはこういう男性をいう人でした。自分がロータリーの会員になれるなど想像したことがなかったのですが、岡野さんからお誘いいただき、このたび入会を認めていただくことができました。

10月に入会の体験をさせていただいたときに、4つのテストを目にしました。

- ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

この4つのテストがすんと心に落ちました。なんとわかりやすく言行の基本を表している言葉だろう、大切なことは本来シンプルであり、時代が変わっても不変なのだなど実感しました。

いままで子育てと仕事を両立するのに精いっぱいでしたが、次男も大学生になりやっと自分で何かできる余裕が時間的にも心の上でもできました。私はいままで出会った方々にご指導をいただき、育てていただきました。これからは、世の中にお返しができるようになります。私ひとりでは限られますが、ロータリーという組織であれば、世の中に役立つ活動ができると確信しています。まだまだ奉仕という意味が十分に理解できていませんが、これからの活動をとおしていつかはロータリアンとして認めていただけるよう心して活動して参りたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

◎ 野田 寿美子 会員



11月より入会させていただくことになりました株式会社 es.Lavie の野田寿美子と申します。歴史と伝統ある船場ロータリークラブの一員となれたことを大変嬉しく光栄に思っております。わたくしごときに15分という大変長いお時間を頂戴しましてこれも修行と思ひ僭越ながら自己紹介をさせていただきます。

今の仕事に就いた経緯と後半は今後の活動の私の思いをお話しさせていただきたいと思ひます。

私は昔の大阪下町の歴史も残る河内と称される地域に該当する少しやんちゃなイメージがあるかもしれないですが八尾市という町で生まれ育ちました。

私は高校時代から大学に行く気はさらさなく早く社会に出てお金を稼ぎたいと19歳で八尾市を出て一人暮らしを始めました。何か稼げる仕事はないか・・・頑張ればその成果報酬がある仕事が良いと始めたのが営業の仕事でした。大阪に帰るのは1週間のうち水曜日と木曜日の2日のみでその2日は会社に出勤し他府県のターゲット客の方にテレアポをとり約束を交わし英語の教材50万相当のものを2時間ほどで販売し契約を交わします。中国四国地方、九州地方を飛び回ってました。

巧みな言葉で教材を売りつけていた・・・といっても過言ではございません。

今となれば営業の良し悪しを少しですが学ばせていただけた会社でもあります。おかげで19歳で月収60万ほどの収入がありました。新人賞も2位をとらせていただき海外旅行などにもご招待いただきまんざらでもなかったのですがほぼホテル生活で不摂生な生活をしておりましたので体は悲鳴をあげており2年半程しか持ちませんでした。

独立するまでさせていだいてた主なお仕事がこの営業職と宅地建物取引主任者の資格を生かし不動産業、後に簿記の資格を生かし顧問先を持ち公認会計事務所にて従事しておりました。

そのうち結婚し子供を産んだのは私にとって大きな転機となりました。子育て中不安感がどんどん自分を襲いました。

社会から取り残された不安感でした。いてもたってもいられなくなりまだ子供が一番大変な時期(3歳と1歳)に思い立ったら止まらない衝動に駆られ、独立し事業を起こしました。

子供がいても自分の時間を見つけてできる仕事。。。と思いついたのが個人事業主としての化粧品を販売することでした。少しでも利益を上げるため低い掛け率で化粧品の仕入れが出来るよう100万円をつぎ込み代理店となり、とにかく売って売って売りまくりました。小さい子供達連れ神戸元町商店街や大阪の京橋商店街で僱事として、またはその当時はまだ少なかったのですがスーパー温泉などで単発のイベント販売等させていただきましました。勿論厚かましくお友達や親せき、親の友達にも有無も言わず売りつけた記憶がございます。今思えば 沢山売れたのは私とその商品が大好きだった事、お客様の悩みに共鳴出来たからだと思っております。

美容に携わっていく中もっと深くお客様の問題解決をしたいと思うようになり肌だけでなくお身体のお手入れもしたくなりエステサロンの開業に至りました。その当時は広告宣伝はSNS等なかったので必死に折り込み広告やポスティング、駅でのチラシの手配りは子供を連れて必死に雨の日も風の日も配った記憶が昨日のように思い浮かびます。

子供達を遊びに連れて行くというより日々一緒にポスティングに行っていた。といっても過言ではないです。

その甲斐あってお客様が増えスタッフを雇いマンションでしていたお店も引き払い現在本店である30坪のお店を構えたのが17年前で今でも予約が取りにくい老舗サロンになっております。開業3年目くらいで多方面の施設様から有難いことにお声がかかりショッピングモールの中や奈良や大阪、三重県の温泉施設、ホテル、名古屋のトヨタさん専用の従業員が通うメンズエステ等に店舗を構え40歳前後の時は数多くのスタッフを抱え走り回っておりました。一番働いていたなと今では思ひます。しかし葛藤もございました。子供の運動会や参観などあまり行ってあげることが出来ずある時々に母の日の感謝の手紙を読む参観に向いた時次女が「お母さんへ・・・私のお母さんはいいつも家にいません。でも私がバスケットボールの試合で頑張ってる時は少しの時間を作っては見に来てくれていました。うれしかったです。

いつも一生懸命働いてくれてありがとう」と申し訳ないと涙が出ました。でも私が決めた道！楽しい仕事！たくさんのスタッフたちと喜びを分かち合うそんな遣り甲斐のある仕事を思う存分させてくれたのは彼女達のおかげと今は思います。長女が結婚式の時には言ってくれた言葉は今でも忘れません。「この日を迎えられるのはママのお陰。一杯泣いて迷惑かけてごめん。ママの尊敬できるこはいっぱいあるけどただ1つママみたいなママになりたい。今まで育ててくれてありがとう」と私らしく起業をした事は間違っていなかったとこの時確信しました。現在美容業はもう23年2万人以上のお客様の施術、300名以上のスタッフ育成を手掛けそして現在は今後やりたい仕事もあり、お店を3分の1にまで縮小しエステティシヤンの現場の仕事も退き残ってるサロン(今はホテルモントレやスパワールド等)は右腕と左腕にほぼ任せ私は極めたい仕事、やってみたい仕事に挑戦してる最中です。今は三本柱のお仕事をさせていただき一本はエステサロンの経営、もう一本は一度はやってみたかった事業、挑戦してみたい仕事の分野でもありました子供のプログラミング塾の経営やパーソナルジムのレンタル事業、そして三本目がつきつめた事業、一人でも多くの人に伝えたい事業に挑戦しています。登録販売士の資格を生かして臨床漢方指導士と分子栄養学、ドイツのエビデンスに基づいたIOB認定オーガニック専門家として沢山の方に自分が企画して作ったオリジナル商品を手にとってもらう事や漢方養生のアドバイス等をお伝えできるよう進めている最中です。その一つとしてオーガニックには人や動物、植物全ての命を幸せにする仕組みがあります。オーガニックを食すると体に良いというパーソナルベネフィットだけではなく社会、地球、次世代に良いソーシャルベネフィットとなります。フェアトレード、貧困撲滅、児童労働禁止、動物福祉、生物多様性、温暖化防止等の真価を学びました。いえ学んでいる途中です。

有機食品の世界市場は年々上昇しております。日本は世界の有機栽培の圃場における占有率は102位の0.2%でまだまだです。遺伝子組み換え(GMO)いわゆるそれを摂取すると喘息やアレルギー、炎症、内臓にも害をもたらす細胞の老化現象に影響がでるにも関わらず日本はGMOの受け入れが世界1位です。有害物質である重金属や抗菌剤も日本は使用料トップクラスです。

日本はオーガニック後進国です。化学肥料や農薬の恐ろしさに疑問を抱き有機食品をなるべく取って欲しい！何故なら抗酸化物質の摂取量が平均20%上昇するという事を伝えたい、有機栽培することにより化学肥料から出る有害物質を少なくしたり、家畜肥料である濃厚肥料を栽培するために毎年毎年森林が消滅したりする事を伝えたい！生物多様性喪失を食い止めたい！地球は第6の大量絶滅を今迎えています。そのことを一人でも多くの人に知っていただけたらと思います。もう1点は自分自身を愛おしく思っで欲しいということです。先日にも特に身に染みて思いました。50代にして最初は羞恥心がかかなりあったのですが友人のカメラマンに初ヌードを沖縄でとってもらいました。出来上がりを見ますと涙が出ました。なんて愛おしのだろうか・・・この身体も心も頑張っで動いてくれている。だからこそもっと自分を知らなくてはいけない。人それぞれ身体や心は千差万別です。今では血液検査や毛髪検査などで自分の栄養は何が足りないかさえわかります。サプリメントも人それぞれ飲む種類も量も全く違います。風邪の初期や中期でも飲む漢方薬も全く違いますし睡眠薬でも人それぞれ飲むものも違います。

自分に何が足りなくて何が不要なのか、自身の心の満たされ方も人それぞれで他人と比べる必要はありません。自身をもっと知っでほしいと思います。そして自分が自分の主治医になっで欲しいというのが私の強い思いです。そして元気にいつまでも稼いで遊びたい・・・私もまだまだ孫の為に働きます。

最後になりますがこのご縁を生かしロータリー活動を通じでネットワークを広げさせていただき、ロータリーに入会して心から良かったと思えるよう、そして私事ですが出来ることがありましたら奉仕させていただき所存でございます。人間としても幅を広げでまだまだ成長して行く良い機会となっでいきますよう勉強をさせていただこうと思っでおります。

今後におきましては皆様方の御指導を仰ぐばかりだと存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。私ごときで長文にお付き合ひいただきありがとうございます。

☆☆☆ 大阪市立開平小学校5年生キャリア教育体験学習について ☆☆☆
令和3年12月21日(火)

青少年奉仕委員長 洪 理恵

青少年奉仕委員長の洪です。委員会報告をさせていただきます。

12月21日(火)に開平小学校5年生による職場体験が実施されました。

今回ご協力いただいた会員、企業様は、新川会員/エース株式会社様、片岡会員/共栄社化学株式会社様、小島会員/株式会社コジマ様、清水会員/栄和産業株式会社様、澤田会員/澤田歯科様、竹内会員/テイクコーポレーション株式会社様です。心より感謝申し上げます。ご協力、ありがとうございました。ここで皆さまより頂戴した、当日のエピソードやお写真をご紹介します。

【エース株式会社】



開平小学校5年生6名の皆さんに、スーツケースが出来る過程を編集した映像やクロコダイルの貴重な革サンプルなどをご覧頂きました。普段使いになる事もあるスーツケースの製造工程に興味を示されたり、ショールームでは様々なカバンの現物にも触れて頂き、実際に使うシーンをイメージして頂くことも出来ました。

【共栄社化学株式会社】



昨年は新型コロナウイルスの影響で延期となっていた開平小学校の生徒の方々を本年は 12月21日(火)10時から11時30分までの間に迎えることができました。男子7名、女子3名、そして引率の先生を含め11名の皆様と化学実験を実施しました。今回の実験は2種類を用意しました。

1つ目は紙ボートです。水に浮かべた紙ボードの後ろ端に界面活性剤を塗ることにより張力差でボートが進むものを体験していただきました。ボートに限らず様々な形を子供たちは、その想像力で大きさや形を創り出してくれました。

2つ目は液体の発光を見てもらい、光の3原色としてそれぞれ赤、緑、そして青の発光している液体を一つのビーカーに入れていき、色の変化を確認していきました。知識を使った色、どうなるか試しに入れてみた色、様々な色を作り出すことができました。子供たちの笑顔を沢山もらえる機会を与えてくださったロータリークラブの活動に感謝いたします。

【澤田歯科】



開平小学校の5年生10名が澤田歯科に職場見学に来院しました。病院での治療内容の流れ、歯と健康について説明を行いました。又、治療の重要性について話しをしました。その後、衛生士が皆さんにカルテを渡し、カルテの書き方、検診の仕方やレントゲンの取り方など説明。実際に印象材を使って生徒達の口腔内の歯型や指の型をとり技工士さんが石膏を流して、一人一人の模型を作り記念に持って帰って頂きました。生徒の皆様に歯科医療の内容を知って大変興味を持って頂きました。

【株式会社テクノコーポレーション】



当社の設備を使って、子供達自身の名前が入ったアクリルキーホルダーとお名前シールを作ってもらいました。

グループに分かれてデザインを当て込んだり、プリントしたり、カットしたりを実際の機械で体験してもらいました。

初めて見る機械に興味深々で、テーマパークや商業施設、アニメキャラ等の施工実績を見せるととても驚いて、ナイスな反応をしてくれました。

終始、明るく元気な雰囲気でしたが、作業は真剣に体験してくれていたように思います。

中には、熱が上がってきたのか『将来の夢、保育園の先生やったけど、ここに変えようなあ』と言いつつ女の子もいて、社員と爆笑しました。

子供たちには、こんな仕事もあるんだよと理解してもらえたこともうれしかったですし、当社社員にとっても、子供たちに伝えることで新しい発見があり、貴重な体験ができたとの声をもらいました。

校長先生からもこの時代中での子供たちの教育に対する苦労も聞けましたし、ご丁寧なお礼の言葉もいただきました。

次回、機会があれば、さらにグレードアップさせた職場体験したいと思います。

今回は、ありがとうございました。

【株式会社コジマ】



弊社では、まず事務所で目の仕組みやレンズの種類などを勉強したり、素材やデザインの異なるフレームを実際に掛けて、試してもらいました。人間とは違う動物の目の仕組みに驚いたり、紫外線が当たると色が変わるレンズを目の当たりにして歓声が上ったり、お互いに似合うメガネを選びあうなど楽しんでもらえました。

そのあと、大丸心齋橋店メガネサロンへ移動し見学してもらいました。

視力測定の機器の体験をしたり、店頭に並ぶベッ甲や金などの高額

商品を見て、加工の工程を見ていただく時間がなくなるくらい盛り上がりました。

各場面で驚いたり、歓声を上げてくれる小学生の皆さんの姿は、日々それが当たり前になってしまいがちな私たち社員にとって新鮮な経験でした。

改めましていい機会をありがとうございました。

☆次回1月17日(月)例会予定

・卓話 小島会員